



平成28年11月14日

各 位

会 社 名 昭和ホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 重田 衛  
(コード番号 5103 東証第二部)  
問合せ先 取締役財務総務担当 庄司 友彦  
(TEL. 04-7131-0181)

## 平成29年3月期（連結）通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成28年5月13日に公表いたしました平成29年3月期（連結）通期業績予想につきまして、本日修正することといたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成29年3月期（連結）通期業績予想の修正（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	13,500百万円	3,400百万円	3,650百万円	500百万円	7.27円
今回修正予想(B)	—	—	—	—	—
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成28年3月期)	12,218百万円	2,261百万円	2,540百万円	364百万円	6.59円

#### 2. 修正の理由

現在、当社の重要な子会社でありますGroup Lease PCL.並びにそのグループ会社が行うDigital Finance事業におきまして、業績の急拡大が顕著となっております。

具体的には、平成28年7月から操業を開始したインドネシア共和国でのファイナンス事業は、初四半期から利益化を果たし、また、当第3四半期からは、先日公表させていただきましたスリランカ民主社会主義共和国のファイナンス会社Commercial Credit and Finance Plcの持分法適用関連会社化、及びミャンマー連邦共和国のBG MICRO FINANCE MYANMAR CO.,LTD.の連結子会社化を行う見通しとなっております。

さらに、カンボジア王国では、True Moneyと業務提携を行うことでカンボジア国内での代理店ネットワークの拡張を目指す等、Digital Finance事業を取り巻く環境は大きな変化を遂げており、現在同事業は非連続的な飛躍が見込まれる段階となっております。

これらの事情により、現時点で平成29年3月期（連結）通期業績予想を公表することは不可能と判断いたしましたので、今後更なる情報収集や検討を進め、合理的に予測可能となった時点で公表させていただきます。

なお詳細につきましては、本日当社のホームページにて掲載させていただきます「業績予想について」をご参照ください。

何卒ご理解いただけますようお願い申し上げます。

（参考情報）

業績予想について

<http://www.showa-holdings.co.jp/news/doc/news20161114.pdf>

Digital Finance事業 インドネシア共和国で事業開始

[http://www.wedge-hd.com/cms\\_v2/assets/files/NEWS/2016/p20160711.pdf](http://www.wedge-hd.com/cms_v2/assets/files/NEWS/2016/p20160711.pdf)

(スリランカ民主社会主義共和国)Commercial Credit and Finance Plcの持分法適用関連会社化

[http://www.showa-holdings.co.jp/ir/irfile/sh20161003\\_1.pdf](http://www.showa-holdings.co.jp/ir/irfile/sh20161003_1.pdf)

(ミャンマー連邦共和国)BG MICRO FINANCE MYANMAR CO.,LTD. の連結子会社化

<http://www.showa-holdings.co.jp/ir/irfile/sh20160907.pdf>

[http://www.showa-holdings.co.jp/ir/irfile/sh20161003\\_2.pdf](http://www.showa-holdings.co.jp/ir/irfile/sh20161003_2.pdf)

True Moneyとの業務提携

[http://www.wedge-hd.com/cms\\_v2/assets/files/NEWS/2016/p20160829\\_2.pdf](http://www.wedge-hd.com/cms_v2/assets/files/NEWS/2016/p20160829_2.pdf)

以上